

平成30年度

○評価表

○取組内容

県立安芸津病院

# 【平成30年度 評価表】

取組方針 / 取組項目		取組総括		自己評価 ( )はH29	委員会評価 ( )はH29	委員会意見
<b>I 医療機能の強化</b>						
①	専門医療・政策医療	○専門医療の充実 ○政策医療の提供	・災害の影響もあり、入院・外来患者数が減少し、多くの指標が前年度を下回った。 ・救急搬送受入件数は、対目標・前年ともに下回った。	△(○)	△(○)	略
②	地域包括ケアシステム構築への貢献	○地域等との連携の推進 ○在宅療養支援の充実 ○予防医療の推進	・安芸津町内のケアマネとの定例会の開催や退院時支援の充実、歯科医師との連携など、地域の関係者との連携強化を図った。 ・訪問看護実施数は目標を達成したが、前年度実績からは大きく減少した。	○(○)	○(◎)	略
③	医療安全の確保	○医療安全の確保	・転倒・転落発生率(レベル2以上)は前年より増加したものの、5SやTQM活動といった手法も取り入れて医療安全の確保に引き続き努めている。	○(○)	○(○)	略
④	医療の質の向上	○クリニカルパスの推進 ○チーム医療の充実	・多職種連携、チーム医療に取り組んでいる。 ・認知症患者の増加に伴い、認知症ケアチームの活動が増加した。	○(○)	○(○)	略
⑤	危機管理対応力の強化	○災害対策の強化 ○感染症対策の強化	・H30.7豪雨災害により病院設備に大きな被害を受けたものの、継続して医療を提供することができた。 ・院内の防災・感染症対策はもとより、地域の防災・感染症対策に積極的に取り組んでいる。	○(○)	○(○)	略
<b>II 人材育成機能の維持</b>						
⑥	医療人材の育成・確保	○医師の確保・育成 ○看護師等の確保・育成 ○医療人材の派遣等	・初期臨床研修医の地域研修の受入や医療スタッフの派遣に取り組んだ。 ・学生実習等、医療人材の育成に取り組んでいる。	○(○)	○(○)	略
<b>III 患者満足度の向上</b>						
⑦	患者満足度の向上・広報の充実	○患者満足度の向上 ○広報の充実	・患者アンケートによる満足度は入院・外来とも95%前後の高水準となっている。 ・院外広報誌の発行、町広報誌等への寄稿や医療公開講座、各種イベントへの参加を通じ、地域への医療情報の発信などに積極的に取り組んだ。	○(○)	◎(○)	略
⑧	業務改善	○TQMサークル活動の推進 ○5S活動の推進	・TQM活動、5S活動に継続的に取り組み、TQM活動3年目となり、サークル数を前年より増やし、TQM手法の習得者の拡大に取り組んだ。	○(○)	◎(○)	略
<b>IV 経営基盤の強化</b>						
⑨	経営力の強化	○情報処理技術の活用 ○規模機能の適正化に伴う職員配置 ○病棟・病床運営の弾力的な運営	・毎週月曜の病床管理ミーティングの実施など、円滑な病床管理の促進に取り組んだが、災害の影響もあり入院・外来患者数は減少した。	△(○)	○(○)	略
⑩	増収対策	○医療収益の増加策 ○未収金対策	・各種加算の取得に努めたが、災害の影響もあり、入院・外来患者数が減少し減収となった。	△(○)	○(○)	略
⑪	費用合理化対策	○適正な材料・備品の購入 ○経費の見直し	・後発医薬品の利用を継続して拡大し、各種契約内容の見直しを行い、経費削減に取り組んだ。	△(△)	○(○)	略
<b>V 決算、目標指標</b>						
⑫	決算の状況		・入院・外来患者数の減少により、減収減益となった。	△(△)	△(△)	略
⑬	目標指標の達成状況		・災害の影響もあり、入院・外来患者数が減少した。それに伴い内視鏡検査件数などの指標が未達成となった。	-	-	略

# I 医療機能の強化 ①専門医療・政策医療

	H29	H30
自己評価	○	△
委員評価	○	△

## 《取組方針》

- ・病院の専門性や機能に関する情報を地域医療機関に積極的に提供し、連携を深めるとともに、安芸津病院又は安芸津病院を通して必要な医療が地域で受けられる体制を構築します。
- ・小児医療、2次救急医療体制を維持・運営します。

《H30》 取組項目 / 取組内容	取組総括																				
<p><b>専門医療の充実</b></p> <p>○専門医療の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人工関節置換術を受けた患者のアフターケアを行うため、専門外来を開設〔H29.6～〕 H30.4～31.3:334件</li> <li>・骨密度測定装置を更新(H30.3)し、より高精度な検査を実現</li> <li>・急性期病院と連携した化学療法の実施</li> <li>・緩和ケア外来の実施〔週1回〕 日本緩和医療学会認定研修施設に指定〔H25～、県内9施設〕</li> </ul> <p>★手術件数【重点指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30実績</th> <th>H30目標</th> <th>H29実績</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>326件</td> <td>380件</td> <td>344件</td> <td>▲54件</td> <td>▲18件</td> </tr> </tbody> </table> <p>□新規入院患者数 H30実績:1,056人(▲136人) H29実績:1,192人</p> <p>★内視鏡検査件数【重点指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30実績</th> <th>H30目標</th> <th>H29実績</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,650件</td> <td>1,900件</td> <td>1,693件</td> <td>▲250件</td> <td>▲43件</td> </tr> </tbody> </table> <p>□化学療法件数 H30実績:190件(▲141件) H29実績:331件</p> <p>□延外来患者数 H30実績:64,782人(▲2,690人) H29実績:67,472人</p>	H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比	326件	380件	344件	▲54件	▲18件	H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比	1,650件	1,900件	1,693件	▲250件	▲43件	<p>■自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害の影響もあり、入院・外来患者数が減少し、多くの指標が前年度を下回った。</li> <li>・救急搬送受入件数は、対目標・前年ともに下回った。</li> </ul> <p>■課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院、外来患者の確保</li> </ul>
H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比																	
326件	380件	344件	▲54件	▲18件																	
H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比																	
1,650件	1,900件	1,693件	▲250件	▲43件																	
<p><b>政策医療の提供</b></p> <p>○政策医療(2次救急医療体制・小児医療)の維持・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・竹原市の2病院とともに、安芸津・竹原・大崎上島地域の2次救急輪番体制を維持</li> <li>・大崎上島町小児健診事業への継続協力</li> </ul> <p>★救急搬送受入件数【重点指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30実績</th> <th>H30目標</th> <th>H29実績</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>349件</td> <td>370件</td> <td>401件</td> <td>▲21件</td> <td>▲52件</td> </tr> </tbody> </table> <p>□竹原・安芸津地区の救急車受入割合(東広島市消防局調べ) 安芸津病院での受入割合(H30.1～H30.12):31.6% (H29実績:32.3%) ※残り2病院の受入割合:68.4% (H29実績:67.7%) うち安芸津町患者における受入割合:69.0% (H29実績:66.6%) ※残り2病院の受入割合:31.0% (H29実績:33.4%)</p>	H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比	349件	370件	401件	▲21件	▲52件											
H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比																	
349件	370件	401件	▲21件	▲52件																	

# I 医療機能の強化 ②地域包括ケアシステム構築への貢献

	H29	H30
自己評価	○	○
委員評価	◎	○

## 《取組方針》

- ・地域と一体となり地域住民の健康と暮らしを支えるため、連携会議の定期開催等を通じた地域の行政や関係機関との連携の一層の推進により、地域包括ケアシステムの構築に積極的に貢献します。
- ・地域の医療機関や介護施設等と連携し、訪問診療・看護・リハビリテーションなどにより、在宅で生活している患者のQOLの向上や在宅療養支援の充実に取組みます。
- ・疾病予防の観点から地域住民の健康を支えるため、がん検診をはじめとする各種健(検)診の受入れを積極的に行うとともに、地域住民の健康増進に繋がる予防医療の構築に取り組みます。

《H30》 取組項目 / 取組内容	取組総括																																																												
<p><b>地域包括ケアシステム構築への貢献</b></p> <p>○地域等との連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護施設等のケアマネジャーとの協議会を立上げ〔月1回〕、連携体制の強化〔H28.7～継続〕</li> <li>・歯科医院との連携によるミールラウンドの実施〔H28.12～継続〕（入院患者の摂食・嚥下機能の回復や誤嚥性肺炎の予防など）</li> <li>・あきつほっと安心ネットワークへの参画</li> <li>・地域の介護施設等への当院研修会への参加案内（12施設）</li> </ul> <p>○在宅療養支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケア病床（急性期後のリハビリ、在宅復帰に向けた支援）の拡充〔H29.4～〕 ⇒ 長期入院ニーズに対応し、21床から29床に8床増床</li> <li>・社会福祉士を1名配置し、退院時等の介護施設等との連携機能を強化</li> <li>・退院後72時間以内の電話訪問の実施による在宅療養生活の継続支援</li> </ul> <p>○予防医療の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外来診察の補完指導として、診察後の看護師による健康指導・受診後のフォローを実施（当日の検査・注射等の実施や検査結果の意味、次回予約・検査内容等の理解を確認）</li> <li>・特に、独居者・高齢者・認知症・糖尿病・高血圧・心不全患者等は、外来カンファレンスで看護計画を作成し、個別指導を実施</li> <li>・医療公開講座や地域イベントでの啓発、行政機関や各種団体への広報等を通じた健(検)診の受診促進の継続</li> <li>・常設型サロンへの定期訪問による健康相談の実施〔週1回〕</li> <li>・生活習慣病ミニ講座の開催〔年6回〕</li> </ul>	<p><b>自己評価</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安芸津町内のケアマネとの定期会合の開催や退院時支援の充実、歯科医師との連携など、地域の関係者との連携強化に取り組んだ。</li> <li>・健(検)診件数は対目標・前年ともに上回る事ができた。</li> <li>・訪問看護実施数は目標を達成したが、前年度実績からは大きく減少した。</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安芸津地域での地域包括ケアシステム構築での当院の役割の明確化と実践</li> </ul>																																																												
<p>★訪問看護実施数【重点指標】 ※全て単独世帯への訪問</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30実績</th> <th>H30目標</th> <th>H29実績</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,196枠</td> <td>2,000枠</td> <td>2,814枠</td> <td>+196枠</td> <td>▲618枠</td> </tr> </tbody> </table> <p>□訪問看護利用者数 H30実績:32.5人/月(+1.7人) H29実績:30.8人/月</p> <p>★ケアマネ集いの会の開催回数【重点指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30実績</th> <th>H30目標</th> <th>H29実績</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10回</td> <td>10回</td> <td>12回</td> <td>±0回</td> <td>▲2回</td> </tr> </tbody> </table> <p>★介護支援連携指導料加算件数【重点指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30実績</th> <th>H30目標</th> <th>H29実績</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>123件</td> <td>120件</td> <td>127件</td> <td>+3件</td> <td>▲4件</td> </tr> </tbody> </table> <p>★歯科連携ミールラウンド回数【重点指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30実績</th> <th>H30目標</th> <th>H29実績</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5回</td> <td>10回</td> <td>16回</td> <td>▲5回</td> <td>▲11回</td> </tr> </tbody> </table> <p>※7月の豪雨災害以降実施できなかった。</p> <p>★地域包括ケア病床における在宅復帰率【重点指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30実績</th> <th>H30目標</th> <th>H29実績</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>81.7%</td> <td>80.0%</td> <td>87.9%</td> <td>+1.7p</td> <td>▲6.2p</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成30年度改定により在宅復帰先として老健施設が除外された。</p> <p>★健(検)診件数【重点指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30実績</th> <th>H30目標</th> <th>H29実績</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,838件</td> <td>2,337件</td> <td>2,715件</td> <td>+501件</td> <td>+123件</td> </tr> </tbody> </table>	H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比	2,196枠	2,000枠	2,814枠	+196枠	▲618枠	H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比	10回	10回	12回	±0回	▲2回	H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比	123件	120件	127件	+3件	▲4件	H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比	5回	10回	16回	▲5回	▲11回	H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比	81.7%	80.0%	87.9%	+1.7p	▲6.2p	H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比	2,838件	2,337件	2,715件	+501件	+123件	
H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比																																																									
2,196枠	2,000枠	2,814枠	+196枠	▲618枠																																																									
H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比																																																									
10回	10回	12回	±0回	▲2回																																																									
H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比																																																									
123件	120件	127件	+3件	▲4件																																																									
H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比																																																									
5回	10回	16回	▲5回	▲11回																																																									
H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比																																																									
81.7%	80.0%	87.9%	+1.7p	▲6.2p																																																									
H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比																																																									
2,838件	2,337件	2,715件	+501件	+123件																																																									

# I 医療機能の強化 ③医療安全の確保

《取組方針》

・地域の医療機関と連携した院内感染対策に取り組むとともに、医療安全対策の徹底を図り、引き続き、医療事故の防止に努めます。

	H29	H30
自己評価	○	○
委員評価	○	○

《H30》 取組項目 / 取組内容	取組総括
<p><b>医療安全の確保</b></p> <p>○医療安全の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療安全、感染対策研修会の開催〔年12回〕</li> <li>・セーフティマネジメント部会の開催〔年12回〕</li> <li>・医療安全ラウンド(5S活動)の継続実施</li> </ul> <p>○院内マニュアルの改訂</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬剤管理マニュアル</li> <li>・抗生物質適正使用マニュアル 等</li> </ul> <p>○広島病院と連携したME機器研修の開催〔年2回〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床工学技士から学ぶ不整脈について</li> <li>・緊急時のME機器対応～予測しない停電が起きたら～</li> </ul> <p>○地域の医療機関等と連携した感染対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安芸津病院の認定看護師等による、地域の医療機関や介護施設等の感染症予防対策を指導(研修会講師)</li> </ul>	<p>■自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・転倒・転落発生率(レベル2以上)は前年より増加したものの、5SやTQM活動といった手法も取り入れて医療安全の確保に引き続き努めている。</li> </ul> <p>■課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療安全、感染対策研修会の全職員参加</li> </ul>

★医療安全・感染対策研修会の開催回数【重点指標】

H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比
12回	12回	12回	±0回	±0回

□転倒・転落発生率(レベル2以上)

H30実績: 0.045%(+0.018p)      H29実績: 0.027%

・入院延患者数  
 H30実績: 28,668人(▲4,877人)      H29実績: 33,545人

・転倒・転落件数  
 H30実績: 13件(+4件)      H29実績: 9件

# I 医療機能の強化 ④医療の質の向上

	H29	H30
自己評価	○	○
委員評価	○	○

《取組方針》

- ・多職種が専門性を活かして連携し、症例検討会を行うなど、チーム医療の充実を図ります。
- ・個人情報の保護を図りつつ、NDB(ナショナルデータベース)や診療情報に関するデータを比較・活用し、医療の質の向上や効率化のための分析を進めます。

《H30》 取組項目 / 取組内容	取組総括														
<p>医療の質の向上</p> <p>○クリニカルパスの推進</p> <p>○チーム医療の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種で構成する委員会・チームが院内で横断的に活動し、チーム医療を推進</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>委員会・チーム</th> <th>取組内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>褥瘡対策委員会</td> <td>褥瘡ラウンド、褥瘡予防、発生時の支援、マットレスの管理など</td> </tr> <tr> <td>NST委員会</td> <td>歯科連携によるミールラウンド、NSTラウンド、患者の栄養状態の改善など</td> </tr> <tr> <td>糖尿病教室運営委員会</td> <td>糖尿病教育入院、外来糖尿病教室、フットケア外来、糖尿病ミニ講座など</td> </tr> <tr> <td>感染症対策チーム</td> <td>院内感染の防止、地域での研修会の開催、施設への訪問指導・相談対応など</td> </tr> <tr> <td>緩和ケアチーム</td> <td>緩和ケア外来、疼痛管理、精神的な支援など</td> </tr> <tr> <td>認知症ケアチーム</td> <td>認知症ケアラウンド、カンファレンスの開催など</td> </tr> </tbody> </table> <p>○地域の医療機関と連携した取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・肺炎罹患率の低下を目的に、地域の歯科医院と連携した院内ミールラウンドの継続実施【再掲】</li> </ul> <p>○離床の少ない患者のADL向上・在宅復帰支援等を目的とした院内デイケアの継続実施【年13回、延参加者数：134名】</p> <p>□クリニカルパス適用率 H30実績：15.5%(+3.0p) H29実績：12.5%</p> <p>□チーム医療の活動状況</p> <p>①認知症ケアチームによる認知症ラウンド H30実績：194件(+8件) H29実績：186件</p> <p>②緩和ケアチームによる院内研修会の実施 H30実績：2回(±0回) H29実績：2回</p> <p>③糖尿病チーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病教室：年12回</li> <li>・生活習慣病予防ミニ講座：年6回、延参加者数64名</li> <li>・フットケア外来：毎月第2火曜日、受診者数65名</li> </ul>	委員会・チーム	取組内容	褥瘡対策委員会	褥瘡ラウンド、褥瘡予防、発生時の支援、マットレスの管理など	NST委員会	歯科連携によるミールラウンド、NSTラウンド、患者の栄養状態の改善など	糖尿病教室運営委員会	糖尿病教育入院、外来糖尿病教室、フットケア外来、糖尿病ミニ講座など	感染症対策チーム	院内感染の防止、地域での研修会の開催、施設への訪問指導・相談対応など	緩和ケアチーム	緩和ケア外来、疼痛管理、精神的な支援など	認知症ケアチーム	認知症ケアラウンド、カンファレンスの開催など	<p>■自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種連携、チーム医療に取り組んでいる。</li> <li>・認知症患者の増加に伴い、認知症ケアチームの活動が増加した。</li> </ul> <p>■課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クリニカルパスの活用</li> </ul>
委員会・チーム	取組内容														
褥瘡対策委員会	褥瘡ラウンド、褥瘡予防、発生時の支援、マットレスの管理など														
NST委員会	歯科連携によるミールラウンド、NSTラウンド、患者の栄養状態の改善など														
糖尿病教室運営委員会	糖尿病教育入院、外来糖尿病教室、フットケア外来、糖尿病ミニ講座など														
感染症対策チーム	院内感染の防止、地域での研修会の開催、施設への訪問指導・相談対応など														
緩和ケアチーム	緩和ケア外来、疼痛管理、精神的な支援など														
認知症ケアチーム	認知症ケアラウンド、カンファレンスの開催など														

# I 医療機能の強化 ⑤危機管理対応力の強化

《取組方針》

・地域関係者を含めた訓練・研修の実施などによる危機管理対策に取り組みます。

	H29	H30
自己評価	○	○
委員評価	○	○

《H30》 取組項目 / 取組内容	取組総括									
<p><b>災害対策の強化</b></p> <p>○災害対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H30.7豪雨災害の経験を踏まえ、災害予防・減災対策マニュアルを策定</li> <li>・今後の豪雨災害等に備えて、止水板の改良・新設等設備面の対策を実施</li> <li>・自衛消防訓練の実施</li> </ul>	<p>■自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H30.7豪雨災害により病院設備に大きな被害を受けたものの、継続して医療を提供することができた。</li> <li>・感染症対策については、職員にマニュアルの順守を徹底するとともに、入院患者への面会制限等を適切に実施し、インフルエンザ等のアウトブレイクを回避した。</li> <li>・院内の防災・感染症対策はもとより、地域の防災・感染症対策に積極的に取り組んでいる。</li> </ul> <p>■課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧棟の耐震化の具体化に向けた道筋を明らかにする必要がある。</li> </ul>									
<p><b>感染症対策の強化</b></p> <p>○院内感染対策の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策委員会とICT部会が毎週水曜日に院内をラウンド</li> </ul> <p>○地域の医療機関等と連携した感染対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策チームを中心とした、地域の医療機関や介護施設等への感染症予防対策の指導を実施</li> <li>・地域の医療機関や介護施設等への当院感染症対策研修会への参加案内</li> </ul> <p>★感染症に関する地域医療機関対象研修会の開催回数【重点指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30実績</th> <th>H30目標</th> <th>H29実績</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7回</td> <td>5回</td> <td>7回</td> <td>+2回</td> <td>±0回</td> </tr> </tbody> </table>		H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比	7回	5回	7回	+2回
H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比						
7回	5回	7回	+2回	±0回						

## Ⅱ 人材育成機能の維持 ⑥医療人材の育成・確保

	H29	H30
自己評価	○	○
委員評価	○	○

### 《取組方針》

- ・(医師)高齢者医療、地域医療に対応できる総合診療医を育成します。
- ・(医師)専任指導医を適切に配置するとともに、学会、セミナー等への参加機会を拡充します。
- ・(看護師等)地域の医療従事者向け実務研修を積極的に主催します。
- ・(看護師等)実習教育の受入を積極的に行うなど、地域医療で活躍する人材の育成・支援に取り組みます。
- ・(人材派遣)地域での講演会への職員講師派遣や、院内研修会の地域への開放等を通して、地域の医療・福祉を担う人材の育成及び地域の医療に対する理解促進に貢献するなど、地域の医療水準の維持・向上に努めます。
- ・(人材派遣)地域の医療機関等に医師を派遣し、診療機能の維持や手術指導等による医療水準の向上に取り組みます。

《H30》 取組項目 / 取組内容		取組総括																														
<b>医師の確保・育成</b> <input type="radio"/> 広島病院臨床研修医の地域研修受入 ・総合診療医としての知識の修得を目的とした研修〔期間：1ヶ月〕 ・安芸津病院医師の専門性を活かした研修、訪問診療・訪問看護への同行など <input checked="" type="radio"/> 初期臨床研修 地域医療研修の受入人数【重点指標】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30実績</th> <th>H30目標</th> <th>H29実績</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8人</td> <td>7人</td> <td>10人</td> <td>+1人</td> <td>▲2人</td> </tr> </tbody> </table>	H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比	8人	7人	10人	+1人	▲2人	<b>看護師等の確保・育成</b> <input type="radio"/> 安芸津病院の認定看護師等による、地域の医療機関や介護施設等への講師派遣 <input type="radio"/> 地域ニーズに対応した独自の認定制度の創設 ・院内認定制度：退院支援ナース9名、フットケアナース4名 ・BLS研修の実施回数：1回 <input type="radio"/> 看護師等コメディカルの養成に係る実習の受入 <input type="checkbox"/> 実習受入件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>H30実績</th> <th>H29実績</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師</td> <td>55人 (延520日)</td> <td>75人 (延671日)</td> <td>▲20人 (▲延151日)</td> </tr> <tr> <td>理学療法士</td> <td>1人 (延14日)</td> <td>3人 (延84日)</td> <td>▲2人 (▲延70日)</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>1人 (延5日)</td> <td>3人 (延35日)</td> <td>▲2人 (▲延30日)</td> </tr> <tr> <td>救急救命士</td> <td>4人 (延24日)</td> <td>3人 (延18日)</td> <td>+1人 (+延6日)</td> </tr> </tbody> </table>	職種	H30実績	H29実績	前年比	看護師	55人 (延520日)	75人 (延671日)	▲20人 (▲延151日)	理学療法士	1人 (延14日)	3人 (延84日)	▲2人 (▲延70日)	管理栄養士	1人 (延5日)	3人 (延35日)	▲2人 (▲延30日)	救急救命士	4人 (延24日)	3人 (延18日)	+1人 (+延6日)	<b>取組総括</b> <b>■自己評価</b> ・初期臨床研修医の地域研修の受入や医療スタッフの派遣に取り組んだ。 ・学生実習等、医療人材の育成に取り組んでいる。 <b>■課題</b> ・小児科など、医師退職後の後任医師の確保が困難である。 ・地域の医療ニーズの高い整形外科医の更なる確保が困難である。 ・ME等の専門職が配置できていない。
H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比																												
8人	7人	10人	+1人	▲2人																												
職種	H30実績	H29実績	前年比																													
看護師	55人 (延520日)	75人 (延671日)	▲20人 (▲延151日)																													
理学療法士	1人 (延14日)	3人 (延84日)	▲2人 (▲延70日)																													
管理栄養士	1人 (延5日)	3人 (延35日)	▲2人 (▲延30日)																													
救急救命士	4人 (延24日)	3人 (延18日)	+1人 (+延6日)																													
<b>医療人材の派遣等</b> <input type="radio"/> 医療人材の派遣 ・大崎上島町小児健診への医師派遣 ・常設型サロン「ひだまり」への看護師定期訪問による健康相談の実施〔週1回〕 <input checked="" type="radio"/> 地域開放型研修会の開催回数【重点指標】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30実績</th> <th>H30目標</th> <th>H29実績</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10回</td> <td>10回</td> <td>10回</td> <td>±0回</td> <td>±0回</td> </tr> </tbody> </table>	H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比	10回	10回	10回	±0回	±0回																						
H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比																												
10回	10回	10回	±0回	±0回																												



### Ⅲ 患者満足度の向上 ⑦患者満足度の向上・広報の充実

	H29	H30
自己評価	○	○
委員評価	○	◎

#### 《取組方針》

- ・患者からの意見・要望(患者意見書)へ適切に対応するとともに、その状況を公表します。また、定期的にアンケートを実施し、満足度の向上に向けた対策を講じます。
- ・患者及び家族の相談に積極的に対応する相談窓口の機能充実を図ります。
- ・療養環境改善のため、病棟における設備、病室の改修を行います。
- ・患者、地域住民を対象とした講演会の開催や各種行事等への参画により、医療情報の発信や医療への理解促進に努めます。

《H30》 取組項目 / 取組内容		取組総括																													
<b>患者満足度の向上</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○患者アンケート等の実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院:全入院患者を対象に常時アンケートを実施(回収率:88.4%)</li> <li>・外来:年に1回実施(配布:911人,回収率:93.9%)</li> <li>・患者意見箱を各病棟やロビーに常設し、意見書への対応状況を公表</li> </ul> </li> <li>○地域のボランティアスタッフと連携した取組                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアスタッフから、患者視点での意見をもらい、改善への結び付け (受診票の配布方法の見直し、杖ホルダーの設置数の増など)</li> <li>・総合案内、院内デイケア業務をボランティアスタッフに自立的に実施してもらうことにより、患者へのきめ細かい対応の実施</li> </ul> </li> <li>○接遇研修の実施[年1回,参加者数:49名]</li> <li>○後発医薬品の導入促進による患者医療費負担の軽減</li> </ul>		<b>自己評価</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者アンケートによる満足度は入院・外来とも95%前後の水準となっている。</li> <li>・院外広報誌の発行、町広報誌等への寄稿や医療公開講座、各種イベントへの参加を通じ、地域への医療情報の発信などに積極的に取り組んだ。</li> </ul> <b>課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報活動等が外来患者数減少の歯止めに繋がっていない。</li> </ul>																													
<ul style="list-style-type: none"> <li>★患者アンケートの満足度(入院)【重点指標】                             <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30実績</th> <th>H30目標</th> <th>H29実績</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>97.1%</td> <td>95.0%</td> <td>98.1%</td> <td>+2.1p</td> <td>▲1.0p</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>★患者アンケートの満足度(外来)【重点指標】                             <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30実績</th> <th>H30目標</th> <th>H29実績</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>94.7%</td> <td>95.0%</td> <td>97.9%</td> <td>▲0.3p</td> <td>▲3.2p</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>★医療相談件数【重点指標】                             <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30実績</th> <th>H30目標</th> <th>H29実績</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,429件</td> <td>2,238件</td> <td>3,125件</td> <td>+1,191件</td> <td>+304件</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>□後発医薬品使用数量割合 H30実績:86.1%(▲1.3p) H29実績:87.4%</li> </ul>			H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比	97.1%	95.0%	98.1%	+2.1p	▲1.0p	H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比	94.7%	95.0%	97.9%	▲0.3p	▲3.2p	H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比	3,429件	2,238件	3,125件	+1,191件
H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比																											
97.1%	95.0%	98.1%	+2.1p	▲1.0p																											
H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比																											
94.7%	95.0%	97.9%	▲0.3p	▲3.2p																											
H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比																											
3,429件	2,238件	3,125件	+1,191件	+304件																											
<b>広報の充実</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○広報の充実                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌等による医療情報の発信、提供 [院外広報誌:年4回,安芸津社協だより:年6回,大崎上島町広報誌:年12回]</li> <li>・地域サロン等への出前講座の開催[年40回]</li> <li>・医療公開講座の開催 [12/1安芸津地区:67名参加,3/9安芸津地区:121名参加]</li> </ul> </li> <li>★地域開放型研修会の開催回数(再掲)【重点指標】                             <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30実績</th> <th>H30目標</th> <th>H29実績</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10回</td> <td>10回</td> <td>10回</td> <td>±0回</td> <td>±0回</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>★出前講座の開催回数【重点指標】                             <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30実績</th> <th>H30目標</th> <th>H29実績</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>50回</td> <td>30回</td> <td>45回</td> <td>+20回</td> <td>+5回</td> </tr> </tbody> </table> </li> </ul>		H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比	10回	10回	10回	±0回	±0回	H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比	50回	30回	45回	+20回	+5回										
H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比																											
10回	10回	10回	±0回	±0回																											
H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比																											
50回	30回	45回	+20回	+5回																											

### Ⅲ 患者満足度の向上 ⑧業務改善

《取組方針》

・医療の質など、患者満足度の向上に繋がるTQM活動や5S活動などの改善活動に積極的に取り組み、組織風土としての定着を図ります。

	H29	H30
自己評価	○	○
委員評価	○	◎

《H30》 取組項目 / 取組内容		取組総括												
<p><b>改善活動</b></p> <p>○TQMサークル活動の推進                      ・活動サークル:6サークル(H28からの累計:12サークル)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>チーム数 (人数)</th> <th>取組テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>28年度</td> <td>2チーム (12人)</td> <td>①職員間のコミュニケーション不足低減 ②入院患者の転倒件数減少</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>4チーム (20人)</td> <td>①3階病棟の文書照会の回答率向上 ②手術材料の診療報酬請求・支払等の誤り低減 ③中央採血室のインシデント低減 ④高齢者の排泄行動に伴う転倒削減</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>6チーム (33人)</td> <td>①電話対応時間の短縮 ②マンモ撮影における患者待ち時間短縮 ③病理検査における診療報酬未請求の削減 ④手術実施記録における修正率の低減 ⑤看護記録の重複を削減しよう! ⑥地域包括ケア病床における入院日数の短縮</td> </tr> </tbody> </table> <p>・サークル活動研修等[年6回実施]:延参加者約127人                      ・「キックオフ大会」,「院内発表会,表彰式」の開催</p> <p>○5S活動の推進                      ・各所属毎に「活動目標・活動内容・スケジュール」を立案し,5S推進委員会を中心に取組を推進                      ・セーフティーマネジメント部会員によるラウンド[2か月に1回]                      ・院内5S活動報告会,外部講師(広島病院職員)によるラウンド評価・ミニ講座</p>		年度	チーム数 (人数)	取組テーマ	28年度	2チーム (12人)	①職員間のコミュニケーション不足低減 ②入院患者の転倒件数減少	29年度	4チーム (20人)	①3階病棟の文書照会の回答率向上 ②手術材料の診療報酬請求・支払等の誤り低減 ③中央採血室のインシデント低減 ④高齢者の排泄行動に伴う転倒削減	30年度	6チーム (33人)	①電話対応時間の短縮 ②マンモ撮影における患者待ち時間短縮 ③病理検査における診療報酬未請求の削減 ④手術実施記録における修正率の低減 ⑤看護記録の重複を削減しよう! ⑥地域包括ケア病床における入院日数の短縮	<p>■自己評価                      ・TQM活動,5S活動に継続的に取り組んだ。</p> <p>・TQM活動3年目となり,サークル数を前年より増やし,TQM手法の習得者の拡大に取り組んだ。</p> <p>■課題                      ・TQM活動,5S活動の定着化に向けてのリーダー育成</p>
年度	チーム数 (人数)	取組テーマ												
28年度	2チーム (12人)	①職員間のコミュニケーション不足低減 ②入院患者の転倒件数減少												
29年度	4チーム (20人)	①3階病棟の文書照会の回答率向上 ②手術材料の診療報酬請求・支払等の誤り低減 ③中央採血室のインシデント低減 ④高齢者の排泄行動に伴う転倒削減												
30年度	6チーム (33人)	①電話対応時間の短縮 ②マンモ撮影における患者待ち時間短縮 ③病理検査における診療報酬未請求の削減 ④手術実施記録における修正率の低減 ⑤看護記録の重複を削減しよう! ⑥地域包括ケア病床における入院日数の短縮												
<p>★TQM手法習得者数(累計)【重点指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30実績</th> <th>H30目標</th> <th>H29実績</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>65人</td> <td>30人</td> <td>32人</td> <td>+35人</td> <td>+33人</td> </tr> </tbody> </table>		H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比	65人	30人	32人	+35人	+33人			
H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比										
65人	30人	32人	+35人	+33人										

## IV 経営基盤の強化 ⑨経営力の強化

	H29	H30
自己評価	○	△
委員評価	○	○

### 《取組方針》

- ・医療需要の把握、医療情報による経営分析、クリニカルパスの見直しなどにより、経営の効率化を図ります。
- ・診療情報管理士等の事務系専門資格職の採用・育成や事務組織の見直し等を行い、事務部門の強化を図ります。
- ・規模・機能の見直しに伴う職員数の適正化、施設基準と配置の比較衡量を適切に行います。
- ・医療需要や採算性・効率性・優先順位等に留意しながら、施設・医療機器等の計画的・重点的な整備を行います。
- ・必要に応じた病床規模や診療科構成の見直しを行い、効率的な病床運営を行います。

《H30》 取組項目 / 取組内容	取組総括																				
<p><b>経営力の強化</b></p> <p>○情報処理技術の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様式1作成システムの登録データによる分析の実施 ※診断群分類別の患者数、転帰の状況等を分析</li> <li>・EFファイル(レセプトデータ)から入院日数、治療、リハビリの状況等を抽出し、複数部署・職種による病床管理ミーティング[毎週月曜]において、病棟全体のベッドコントロール、円滑な入院に活用</li> </ul> <p>○病棟・病床運営の弾力的な運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケア病床(急性期後のリハビリ、在宅復帰に向けた支援)の拡充【再掲】</li> </ul>	<p>■自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週月曜の病床管理ミーティングの実施など、円滑な病床管理の促進に取り組んだが、災害の影響もあり入院・外来患者数は減少した。</li> </ul> <p>■課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般病床と地域包括ケア病床との適切な運用</li> </ul>																				
<p>★1日平均入院患者数【重点指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30実績</th> <th>H30目標</th> <th>H29実績</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>78.5人</td> <td>90.0人</td> <td>91.9人</td> <td>▲11.5人</td> <td>▲13.4人</td> </tr> </tbody> </table> <p>□病床稼働率 H30:80.1%(▲13.7p) H29:93.8%</p> <p>★地域包括ケア病床稼働率【重点指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30実績</th> <th>H30目標</th> <th>H29実績</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>93.1%</td> <td>98.0%</td> <td>101.0%</td> <td>▲4.9p</td> <td>▲7.9p</td> </tr> </tbody> </table> <p>□平均在院日数 H30実績:19.6日(▲0.1日) H29実績:19.7日</p> <p>□平均在院日数(地域包括ケア病床) H30実績:27.7日(+1日) H29実績:26.7日</p> <p>□人件費/医業収益 H30実績:76.4%(+6.9p) H29実績:69.5%</p>	H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比	78.5人	90.0人	91.9人	▲11.5人	▲13.4人	H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比	93.1%	98.0%	101.0%	▲4.9p	▲7.9p	
H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比																	
78.5人	90.0人	91.9人	▲11.5人	▲13.4人																	
H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比																	
93.1%	98.0%	101.0%	▲4.9p	▲7.9p																	

## IV 経営基盤の強化 ⑩増収対策

### 《取組方針》

- ・診療報酬改定や国の制度変更に対応する仕組みを作り、各種加算の取得等に努めます。
- ・診療報酬制度の情報共有と適正な保険診療の推進に努めるとともに、専門スタッフを育成し、適正な診療報酬請求業務に取り組みます。
- ・未収金の発生防止と効率的な回収対策に取り組みます。

	H29	H30
自己評価	○	△
委員評価	○	○

《H30》 取組項目 / 取組内容	取組総括
<b>増収対策</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○医療収益の増加策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の配置見直し等による新たな加算の取得 <ol style="list-style-type: none"> <li>①看護職員夜間16対1配置加算2[H30.5～]</li> <li>②看護職員配置加算(地域包括ケア病棟入院料)[H30.5～]</li> <li>③看護職員夜間配置加算(地域包括ケア病棟入院料)[H30.5～]</li> <li>④入院時支援加算(入退院支援加算)[H30.12～]</li> <li>⑤地域包括ケア入院医療管理料2⇒1[H30.7～]</li> <li>⑥医療安全対策地域連携加算2[H30.6～]</li> <li>⑦医師事務作業補助体制加算1(100対1⇒75対1)[H30.7～]</li> <li>⑧提出データ評価加算[H30.6～]</li> </ol> </li> </ul> </li> <li>○未収金対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間外受診患者に支払いを約する書面を提出してもらい、未収金発生防止</li> <li>・督促状の送付や未払者来院の際の面談実施など、未収金の早期回収</li> <li>・弁護士法人への回収業務委託</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□入院単価 H30実績:33,737円(+2,379円) H29実績:31,358円</li> <li>□医業未収金の新規発生額 H30実績:8,013千円(+688千円) H29実績:7,325千円</li> <li>□医業未収金額(年度末) H30実績:7,931千円(▲2,144千円) H29実績:10,055千円</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■自己評価 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種加算の取得に努めたが、災害の影響もあり、入院・外来患者数が減少し減収となった。</li> </ul> </li> <li>■課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院・外来患者の確保</li> </ul> </li> </ul>

## IV 経営基盤の強化 ⑪費用合理化対策

### 《取組方針》

- ・多様な病院の機能に応じた在庫のあり方の検証や、共同購入や品目・仕様の共通化などの購入方法の見直しにより、品質を担保した上で、収益性や使用効率を踏まえた適正な医薬品・診療材料・器械備品等の採用を進めます。
- ・後発医薬品の利用を拡大します。
- ・業務の見直しを行った上で、委託内容、契約方法の見直しを進めます。
- ・光熱水費などの節約や、省エネルギー対策を推進します。

	H29	H30
自己評価	○	△
委員評価	○	○

《H30》 取組項目 / 取組内容	取組総括										
<p><b>費用合理化対策</b></p> <p>○適正な材料・備品の購入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者負担の軽減を基本に、後発医薬品の利用拡大</li> <li>・購入予定の医療機器について、自治体病院共済会による他病院とのベンチマークを実施 (全て概算掛率(合格値引)の範囲内)</li> </ul> <p>○経費の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機器保守を単独からセット料金化(▲500千円)</li> <li>・重油使用量の削減(▲14,000ℓ, 約6%減)</li> </ul> <p>★後発医薬品使用数量割合【重点指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30実績</th> <th>H30目標</th> <th>H29実績</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>86.1%</td> <td>80.0%</td> <td>87.4%</td> <td>+6.1p</td> <td>▲1.3p</td> </tr> </tbody> </table>	H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比	86.1%	80.0%	87.4%	+6.1p	▲1.3p	<p>■自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後発医薬品の利用を継続して拡大し、各種契約内容の見直しを行い、経費削減に取り組んだ。</li> </ul> <p>■課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広島病院をはじめとした他院の取組を参考にした積極的な経費削減の取組</li> </ul>
H30実績	H30目標	H29実績	目標比	前年比							
86.1%	80.0%	87.4%	+6.1p	▲1.3p							

V 決算, 目標指標 ⑫決算の状況

区 分	(単位: 千円)			(単位: 千円)	
	H30 目標(A)	H30 決算見込(B)	対目標 (B)-(A)	H29 決算(C)	対前年 (B)-(C)
経常収益	2,025,912	1,900,590	▲ 125,322	2,015,490	▲ 114,900
医業収益	1,712,575	1,576,143	▲ 136,432	1,699,788	▲ 123,645
入院収益	1,073,094	967,179	▲ 105,915	1,051,890	▲ 84,711
外来収益	514,788	482,423	▲ 32,365	521,588	▲ 39,165
医業外収益	313,337	324,447	11,110	315,681	8,766
特別利益	0	0	0	21	▲ 21
経常費用	2,122,460	2,111,322	▲ 11,138	2,090,456	20,866
医業費用	2,037,986	2,021,147	▲ 16,839	2,009,620	11,527
給与費	1,198,219	1,203,522	5,303	1,181,034	22,488
材料費	324,991	314,939	▲ 10,052	323,813	▲ 8,874
経費	408,227	398,217	▲ 10,010	396,046	2,171
減価償却費	96,125	97,358	1,233	101,680	▲ 4,322
医業外費用	16,616	14,149	▲ 2,467	15,256	▲ 1,107
支払利息	1,778	989	▲ 789	1,554	▲ 565
特別損失	67,858	76,026	8,168	65,580	10,446
経常収支	▲ 28,690	▲ 134,706	▲ 106,016	▲ 9,407	▲ 125,299
特別損益	▲ 67,858	▲ 76,026	▲ 8,168	▲ 65,559	▲ 10,467
収支差	▲ 96,548	▲ 210,732	▲ 114,184	▲ 74,966	▲ 135,766

	H29	H30
自己評価	△	△
委員評価	△	△

取組総括
<p>■自己評価 7月の豪雨災害の影響により、特に延入院患者数が減少し、経常収支が著しく悪化した。</p> <p>■課題 ・災害により一時的に悪化した経営の再建を図るとともに、経常収支の黒字化を達成する必要がある。</p>

## V 目標指標 ⑬目標指標の達成状況

取組項目(計画)		H30目標	H30 取組結果	達成 状況
<b>(1) 医療機能の強化</b>				
専門 ・ 政策	①手術件数	380 件	<b>326 件</b>	未達成
	②内視鏡検査件数	1,850 件	<b>1650 件</b>	未達成
	③救急搬送受入件数	370 件	<b>349 件</b>	未達成
地域 包括 ケア	④健(検)診件数	2,337 件	<b>2,838 件</b>	★
	⑤訪問看護実施数 ※1枠:30分	2,000 枠	<b>2,196 枠</b>	★
	⑥地域包括ケア病床における在宅復帰率	80.0 %	<b>81.7 %</b>	★
	⑦介護支援連携指導料加算件数	120 件	<b>123 件</b>	★
	⑧ケアマネ集いの会の開催回数	10 回	<b>10 回</b>	★
	⑨歯科連携ミールラウンド回数	10 回	<b>5 回</b>	未達成
⑩医療安全・感染対策研修会の開催回数		12 回	<b>12 回</b>	★
⑪感染症に関する地域医療機関対象研修会の開催回数		5 回	<b>7 回</b>	★
<b>(2) 人材育成機能の維持</b>				
⑫初期臨床研修 地域医療研修の受入人数		7 人	<b>8 人</b>	★
⑬地域の医療・介護関係者向け研修会の開催回数		8 回	<b>10 回</b>	★
⑭地域開放型研修会の開催回数		10 回	<b>10 回</b>	★
<b>(3) 患者満足度の向上</b>				
⑮患者アンケートの満足度(入院)		95.0 %	<b>97.1 %</b>	★
⑯患者アンケートの満足度(外来)		95.0 %	<b>94.7 %</b>	未達成
⑰医療相談件数		2,238 件	<b>3,429 件</b>	★
⑱TQM手法習得者数(累計)		20 人	<b>65 人</b>	★
⑲出前講座の開催回数		30 回	<b>50 回</b>	★
<b>(4) 経営基盤の強化</b>				
⑳1日平均入院患者数		90.0 人	<b>78.5 人</b>	未達成
㉑地域包括ケア病床稼働率		98.0 %	<b>93.1 %</b>	未達成
㉒後発医薬品使用数量割合		80.0 %	<b>86.1 %</b>	★

取組総括
<p>■自己評価</p> <p>・災害の影響もあり、入院・外来患者数が減少した。それに伴い内視鏡検査件数などの指標が未達成となった。</p>
<p>■課題</p> <p>・外来・入院患者数の回復に取組み、適正な職員配置や効率的な診療体制を構築するとともに、委託業務をはじめとした経費の適正化を図り、収支の改善を目指す。</p>